

科目名 (科目番号)	哲 学 (時間割参照)	教員名	椎名 清和	学科等	学部共通	選択	履修年次	1
				曜日・時限等	時間割表参照		単位数	2
				授業形態	講義	オフィスアワー	木1/金5 B217研究室	
授業概要	1回の授業は大きく、前半（話題提供）と後半（各回の学習内容に関する討論ないし考察）に分けて実施する。スライドや視聴覚資料等を補足的に用い、ことばによる「対話」を重視して授業をおこなう。学習を学修へと移行させることで4年間の学びの基盤としていく。							
目的・目標	目的：所与の「当たり前」を疑い、自ら考える姿勢を身につけること 目標：状況を正確に洞察したり、批判的に思考したりすることができる							
準備学習	毎回の授業について少なくとも1時間程度の予習・復習をすること。							
授 業 計 画	回	授業項目	到達目標・学習内容					
	1	オリエンテーション 考える方法	到達目標：Classroomが利用でき、システム上でレポート提出ができる。 学習内容：授業概要等を確認し、Classroomの利用方法を学ぶ					
	2	無知の知 タブラ・ラサ	到達目標：自分が何を知っていて何を知らないのかについて自覚的になる。 学習内容：学びの意味や進め方について検討する。					
	3	アイデア イドラ	到達目標：誤解のパターンを知り、現実を見据えられるようになる。 学習内容：「正しさ」や「正しさをゆがめるもの」について検討する。					
	4	弁証法 自然淘汰	到達目標：「予定調和」にとらわれないようになる。 学習内容：「進化」や「発展」について検討する。					
	5	反証可能性 ブリコラージュ ほか	到達目標：科学「的」な言説に惑わされないようになる。 学習内容：科学とは何かについて検討する。					
	6	脱構築 エポケー コギト ほか	到達目標：無自覚になされる思考について自覚的になる。 学習内容：内在的な思考の枠組みについて検討する。					
	7	悪の陳腐さ 権威への服従	到達目標：思考停止することの危険性を説明できる。 学習内容：自由意思が働かなくなる状況について検討する。					
	8	予定説 公正世界仮説 予告された報酬 ほか	到達目標：弱者非難バイアスについて自覚的になる。 学習内容：「努力すれば報われる」と言えるのか検討する。					
	9	格差の原因 自己実現	到達目標：「平等」概念と「対等」概念を区別して用いることができる。 学習内容：同質性と異質性について検討する。					
	10	第二の性 疎外 権力格差	到達目標：社会構造からもたらされる自己抑圧について自覚的である。 学習内容：差別や社会的排除について検討する。					
	11	ルサンチマン 認知的不協和	到達目標：人間の思考が、どのように「合理化」されるのか説明できる。 学習内容：人間の思考の合理化について検討する。					
	12	ロゴス・エトス・パトス アンガージュマン ほか	到達目標：どのようにすれば人間の行動が変容しやすいのかを説明できる。 学習内容：「納得」と「説得」の違いを検討する。					
	13	マキャベリズム リバイアサン ほか	到達目標：リーダーシップや望ましい社会のあり方についての知見をもつ。 学習内容：目的の正しさが手段を正当化するかどうかを検討する。					
	14	悪魔の代弁者 他者の顔	到達目標：意思決定の質を高めるための要素を説明できる。 学習内容：自分と異なる価値観等との向き合い方を検討する。					
15	パラダイム・シフト 未来予測	到達目標：未来と現在の関係を説明することができる。 学習内容：「新しさ」や「未来」について検討する。						
成績評価の方法・基準	第2回～第15回までの14本の小レポートの合計(100%)で評価します(対面・オンライン共通)。再試験等は実施しません。							
教科書	武器になる哲学 人生を生き抜くための哲学・思想のキーコンセプト50			山口周		KADOKAWA		
参考図書	哲学用語図鑑 続・哲学用語図鑑 中国・日本・英米(分析哲学)編 図鑑哲学―人生を変える100の話			田中正人【著】 斎藤哲也【編・監修】 田中正人【著】 斎藤哲也【編・監修】 ジャクソン、トム【著】		プレジデント社 プレジデント社 ニュートンプレス		
教員からのメッセージ	Howを考えるだけでなく、Whyをも考えられることが、これからの医療職には必要になってきます。なぜなら、急速に進歩する「技術」により、専門職とそうでない人との境界があやふやになり、ある意味、人間が「平等」になるからです。そうした状況において専門職であるためには、「なぜ生きるのか」といった人間にとって根源的な問いと向き合うことが欠かせません(受講生の人数や進度等により、授業内容の一部を変更する場合があります)。レポートはコメントを付して返却します。 オンライン授業に伴い授業計画に変更がある場合は、オンラインクラスで変更のシラバスを周知します。							